

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

グリセリン浣腸剤

第2類医薬品

ケンエー浣腸L40

KENEI ENEMA L40

ケンエー浣腸L40は、日本薬局方グリセリンの50%水溶液を1個40g充てんした浣腸剤です。容器はさまざまな工夫をこらし、病院で広く用いられている医家向浣腸容器を一般用に製品化したものです。

■ケンエー浣腸L40の特徴

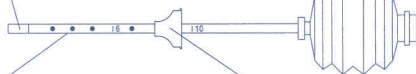
- グリセリンは腸管壁の水分を吸収することに伴う刺激が腸管の蠕動を亢進させます。そのさい、直腸深部にまで送り込むことが効果的です。挿入チューブはロングタイプなので、浣腸液の40gがしっかりと送り込まれ、排便効果を発揮します。
- 浣腸容器はより効果的で安全、しかも使い易い配慮が必要です。細部にわたりさまざまな工夫をこらし、より使い易い機構を備えています。

逆流防止弁付ノズル

浣腸時の不快な液の逆流を防ぎます。

アコーディオン方式容器

握り易く、全量をワンプッシュで注入できます。折り込まれた部分は復元せず、液の残量が少ない独特の方式です。



目盛り挿入チューブ

適度に柔軟性のあるロングタイプなので、浣腸液が直腸深部までとどきます。挿入目安の目盛り入りです。

スライド式ストッパー

チューブの過挿入の危険を防ぎ、肛門にぴったりフィットします。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

連用しないでください

〔常用すると、効果が減弱し（いわゆる“なれ”が生じ）薬剤にたよりがちになります。〕

🗨️ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
（流産の危険性があるので使用しないことが望ましい。）
- (3) 高齢者。
- (4) はげしい腹痛、吐き気・嘔吐、痔出血のある人。
- (5) 心臓病の診断を受けた人。

2. 2～3回使用しても排便がない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

その他の注意

立ちくらみ、肛門部の熱感、不快感があらわれることがあります。



【効能効果】 便秘

【用法用量】

12歳以上 1回1個（40g）を直腸内に注入し、それで効果のみられない場合にはさらに同量をもう一度注入してください。

＜用法用量に関連する注意＞

- (1) 用法用量を厳守してください。
- (2) 本剤使用後は、便意が強まるまで、しばらくがまんしてください。
（使用後、すぐに排便を試みると薬剤のみ排出され、効果がみられないことがあります。）
- (3) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (4) 注入に際し、無理に挿入すると直腸粘膜を傷つけるおそれがあるので注意してください。
- (5) 洗腸にのみ使用してください。

【便秘しがちな人のために】

1. 規則的な排便の習慣をつけることが大切で、毎日時間をきめて一定時間トイレに入るよう心がけましょう。また、便意をもよおしたときは、がまんせずトイレにいきましょう。

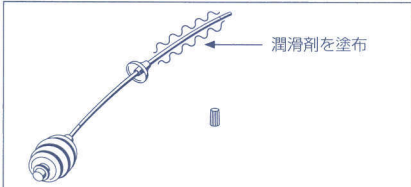
【使用法】

①



本品をそのまま温湯に入れ、体温程度に温めます（50℃のお湯中で約2分間が目安）。

③



チューブの先端をしっかり持ち、キャップをまわすように取りはすし、ストッパーより先端の挿入部を少量の内容液か、オリーブ油、ワセリン等で潤します。

潤滑剤を塗布

⑤



ストッパーを片方の手で固定し、洗腸液を10秒以上かけてゆっくり注入します。注入後、チューブを静かに抜き、肛門部を脱脂綿等で押さえて、3～10分後、便意が強まってから排便すると効果的です。

2. 繊維質の多い食物と水分を多くとるように心がけましょう。
（例：野菜類、果物、コンニャク、カンテン、海藻など。）
3. 適度な運動、腹部マッサージなどを行うよう心がけましょう。
4. 早朝、起きがけに冷たい水又は牛乳等を飲むと便意をもよおしやすくなります。

【成分分量】

1個（40g）中 日局グリセリン 20g含有
添加物：エチルパラベン、ブチルパラベン

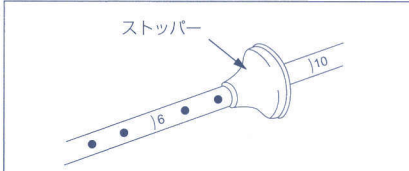
【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

【包装】

40g×1個入、40g×5個入

②



挿入チューブの目盛を目安にして、ストッパーをスライドさせチューブを挿入する深さに合わせます。挿入する深さは6～10cm（目盛6～10）が適当です。

④



容器内の空気を追い出し、体をかがんだ姿勢か左下横向きの状態にして、チューブをストッパーの位置までゆっくりと肛門内に挿入します。

★注意★

1. 無理に挿入すると直腸粘膜を傷つけるおそれがあるので注意してください。
また、挿入する深さは10cm（目盛10）以下にしてください。
2. 加温には60℃以上のお湯を使用しないでください。
3. 洗腸液はゆっくり注入してください。

【お問い合わせ先】

健栄製薬株式会社 学術情報部
〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号 (06) 6231-5626
FAX番号 (06) 6204-0750
受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)



副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

 **健栄製薬株式会社**
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号

AX 1206 ④

